

Shape your world



Ritsumeikan
Asia Pacific University



立命館アジア太平洋大学 在学生アンケート 基礎集計報告書 2022 年度

学長室 IR チーム

メール:
[irteam@apu.ac.jp]

目次

調査の概要	3
調査の目的	3
調査の対象	3
調査の方法	3
調査の期間	3
主な調査項目	3
回収の状況	3
回答者の属性	4
回答状況	5
授業外学習時間	5
異文化交流機会	6
反対言語の使用レベル	7
成長実感（入学以降 APU で習得した資質や能力）	8
大学生活の満足度・帰属意識	9
キャリアプラン	9

調査の概要

調査の目的

在学中における成長実感を調査するとともに、学生の実態を調査することで、教育成果の検証を行うとともに課題に関する現状把握を行い、改善活動に繋げる。

調査の対象

2018年度から2022年度の秋 semester に在籍していた学部学生 10,109人

2018年度、2019年度はすべての学部生が対象

2021年度以降はにおいて2 semester から7 semester に在籍していた学部生が対象

調査の方法

インターネットによるオンライン調査（記名）

調査の期間

各年度 12月 から 1月 末まで

主な調査項目

- 1) 反対言語の使用レベル
- 2) 授業外学習時間
- 3) 異文化交流機会
- 4) 大学生活の満足度・帰属意識
- 5) 成長実感（入学以降 APU で習得した資質や能力）
- 6) キャリアプラン

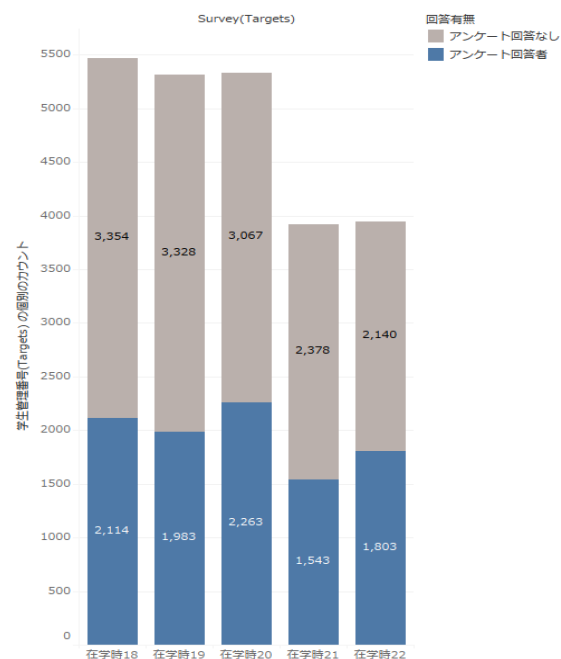
回収の状況

対象者 10,109 人に対し調査を実施し、6,022 人より回答を得た（回答率 59.6%）

調査対象者

Survey(Targets)	回答有無		総計
	アンケート回答なし	アンケート回答者	
在学時18	3,354 0	2,114 2,112	5,468 2,112
在学時19	3,328 0	1,983 1,983	5,311 1,983
在学時20	3,067 0	2,263 2,263	5,330 2,263
在学時21	2,378 0	1,543 1,543	3,921 1,543
在学時22	2,140 0	1,803 1,803	3,943 1,803
総計	7,693 0	6,024 6,022	10,109 6,022

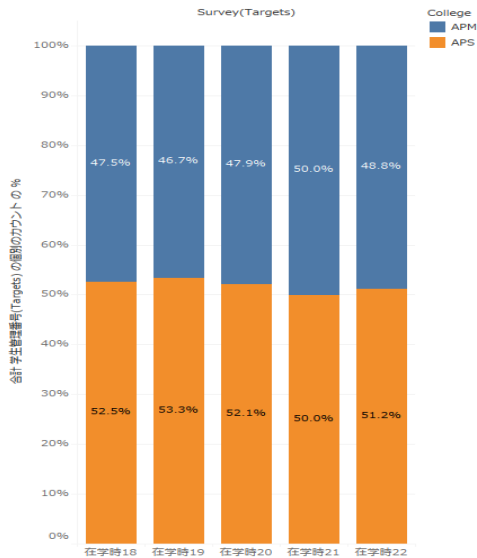
調査対象者と回答者



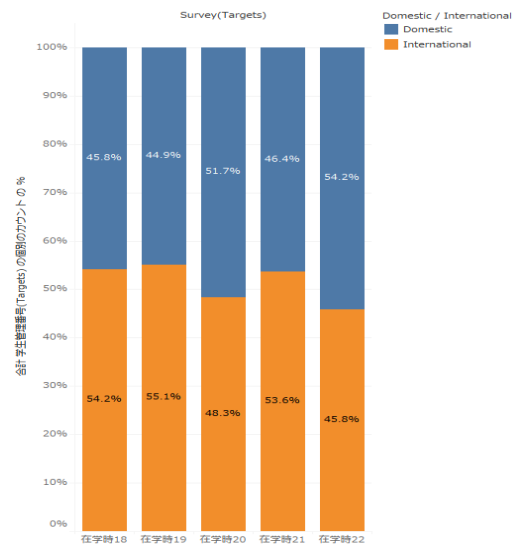
回答者の属性

学部別の内訳と国内学生、国際学生の内訳、回答時の回生別の内訳を以下に示す。国内学生、国際学生、学部による大きな偏りは見られない。回生別の内訳を見ると1回生、2回生の回答が最も多く、回生が上がるにつれて回答率が低くなる。

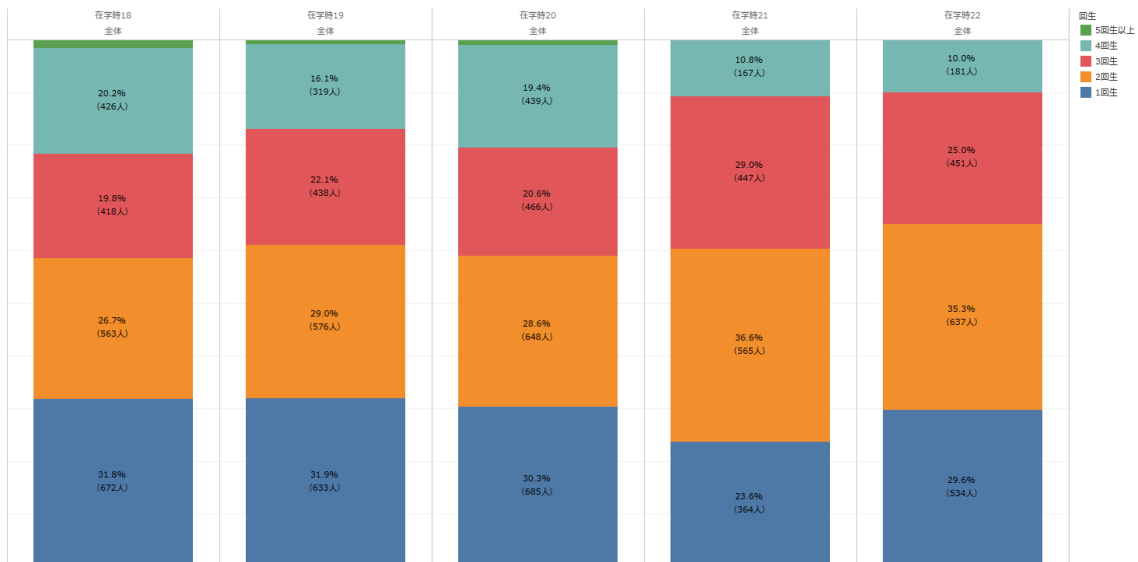
回答者（学部別）



回答者（国内学生・国際学生別）



回答者Summary 回生別



回答状況

授業外学習時間

セメスター中の1日あたりの授業以外の学習時間について質問した結果を以下に示す。

(a. しない、b. 30分未満、c. 30分～1時間未満、d. 1時間～2時間未満、e. 2時間～3時間未満、f. 3時間～4時間未満、g. 4時間～5時間未満、h. 5時間以上、の選択肢を以下で換算し平均値を算出； a:0時間、b:0.25時間、c:0.75時間、d:1.5時間、e:2.5時間、f:3.5時間、g:4.5時間、h:5時間)

コロナ禍において授業がオンラインになった2020年度、2021年度は学習時間が増加し、授業がある日も授業がない土日のいずれも1日あたり約2時間（週14時間）となっている。2022年度はコロナ禍前の状況に戻っている。

セメスター中（現在）、授業以外に1日平均どのくらい学修をしていますか？

以下から、それぞれ一つだけを選んでください

（選択肢を以下で換算し平均値を算出； a:0時間、b:0.25時間、c:0.75時間、d:1.5時間、e:2.5時間、f:3.5時間、g:4.5時間、h:5時間）

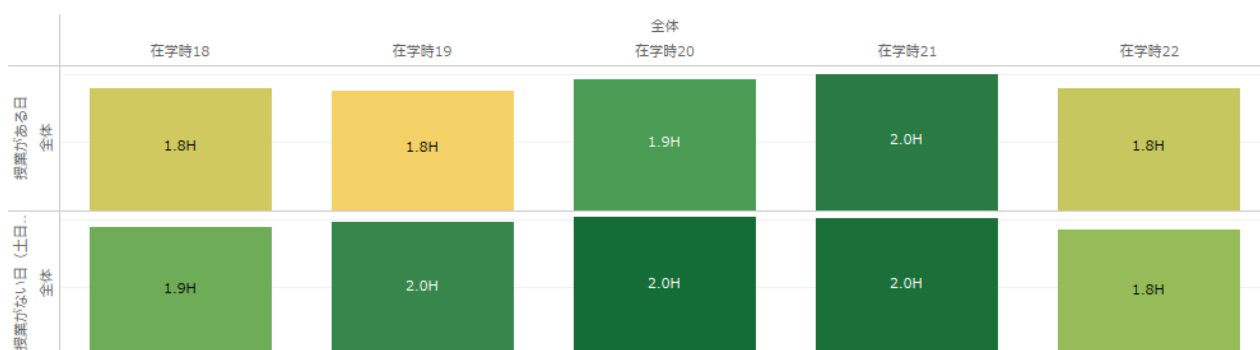
集計カテゴリ

- 全体
- 学部別
- 国内国際

	全体					
	在学時18	在学時19	在学時20	在学時21	在学時22	
授業がある日 全体	1回生	1.86	1.83	1.96	1.85	1.71
	2回生	1.65	1.64	1.95	1.97	1.71
	3回生	1.89	1.78	2.06	2.04	1.90
	4回生	1.79	1.79	1.66	2.21	2.05
	5回生以上	1.12	1.16	1.77		
授業がない日（土日など） 全体	1回生	2.08	2.21	2.25	2.07	1.82
	2回生	1.83	1.84	2.07	1.94	1.72
	3回生	1.92	1.95	2.06	2.05	1.89
	4回生	1.61	1.73	1.59	2.06	2.15
	5回生以上	1.25	1.15	1.46		
合計	1.83	1.86	1.97	2.00	1.81	

集計カテゴリ2

- 全体
- 学部別
- 国内国際

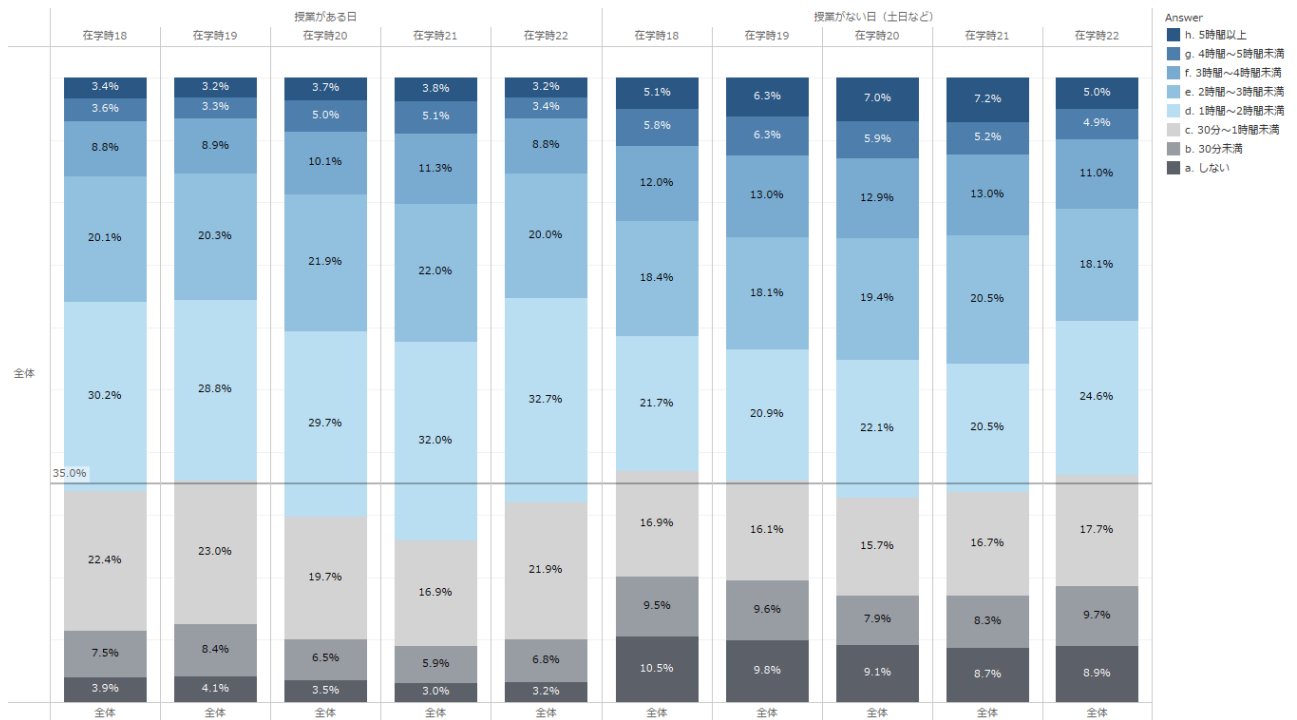


文部科学省による令和3年度「全国学生調査（第2回試行実施）」¹によると、**78%**の回答者が予習・復習・課題など授業に関する学習（卒業論文等は除く）に費やす時間として、週10時間以下と答えている（0時間 15.9%、1-5時間 41.2%、6-10時間 20.9%）のに対し、APUの学生は週10時間未満（1日あたり2時間未満）と答えた学生の割合は**約35%**であり、約75%が週10

¹ https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/chousa/1421136.htm

時間以上学修している。また、0時間（学修しない）と回答した学生の割合も全国学生調査では15.9%であったのに対し、APUは約3.5%（授業がある日）、約9.4%（授業がない日）と低い。

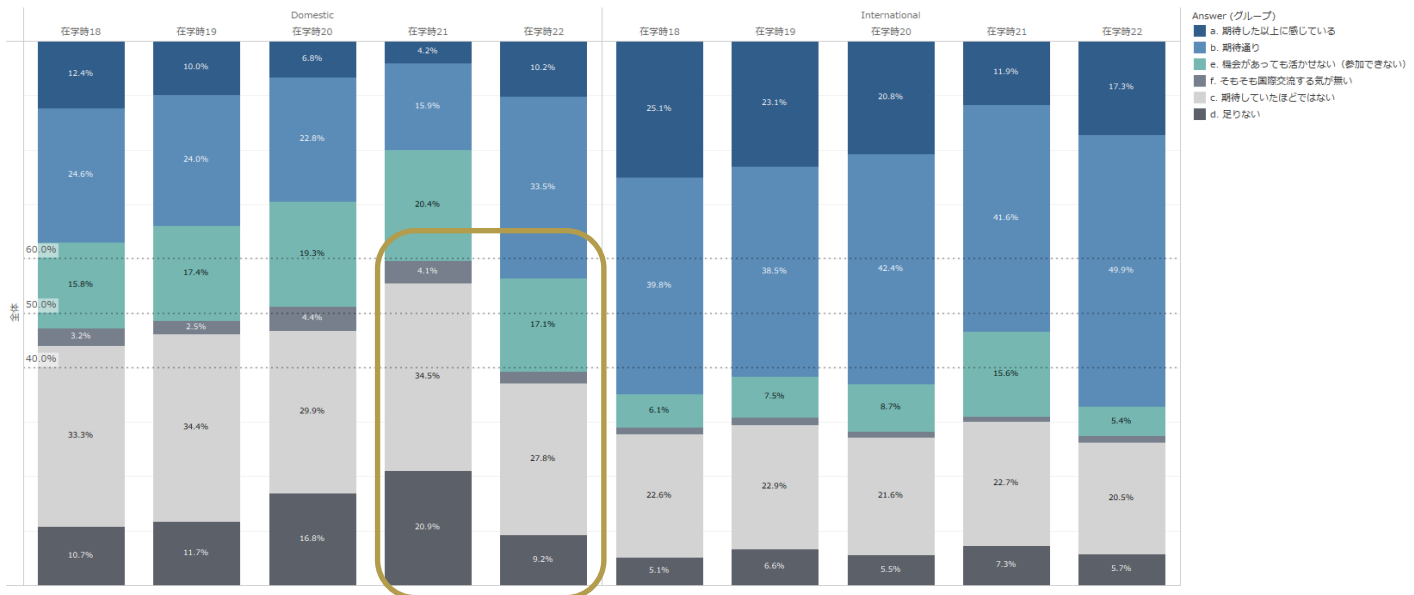
セメスター中（現在）、授業以外に1日平均どのくらい学修をしていますか？以下から、それぞれ一つだけ選んでください
 （選択肢を以下で換算し平均値を算出； a:0時間, b:0.25時間, c:0.75時間, d:1.5時間, e:2.5時間, f:3.5時間, g:4.5時間, h:5時間）



異文化交流機会

国際交流・異文化交流の機会について学生に質問した結果を以下に示す。全体的に国内学生からの肯定的な回答が低く、交流機会が足りていると感じている学生の割合は4割以下にとどまる。特にコロナ禍においては、国内学生の否定的な回答（機会が足りていない、あっても活かさない）が増加し、2021年度は59.5%が否定的な回答であった。2022年度の調査において国内学生、国際学生のいずれも肯定回答が回復しているが、国内学生においては39.2%が機会が足りない、もしくは機会を活かしていないと回答している。

APUは常時、75~85カ国・地域の学生を受け入れています。通常は講義だけでなく、イベントやサークル活動で国際交流する機会がたくさんあります。学生から見て、多様な国際・異文化交流をする機会が足りていると感じますか？



反対言語の使用レベル

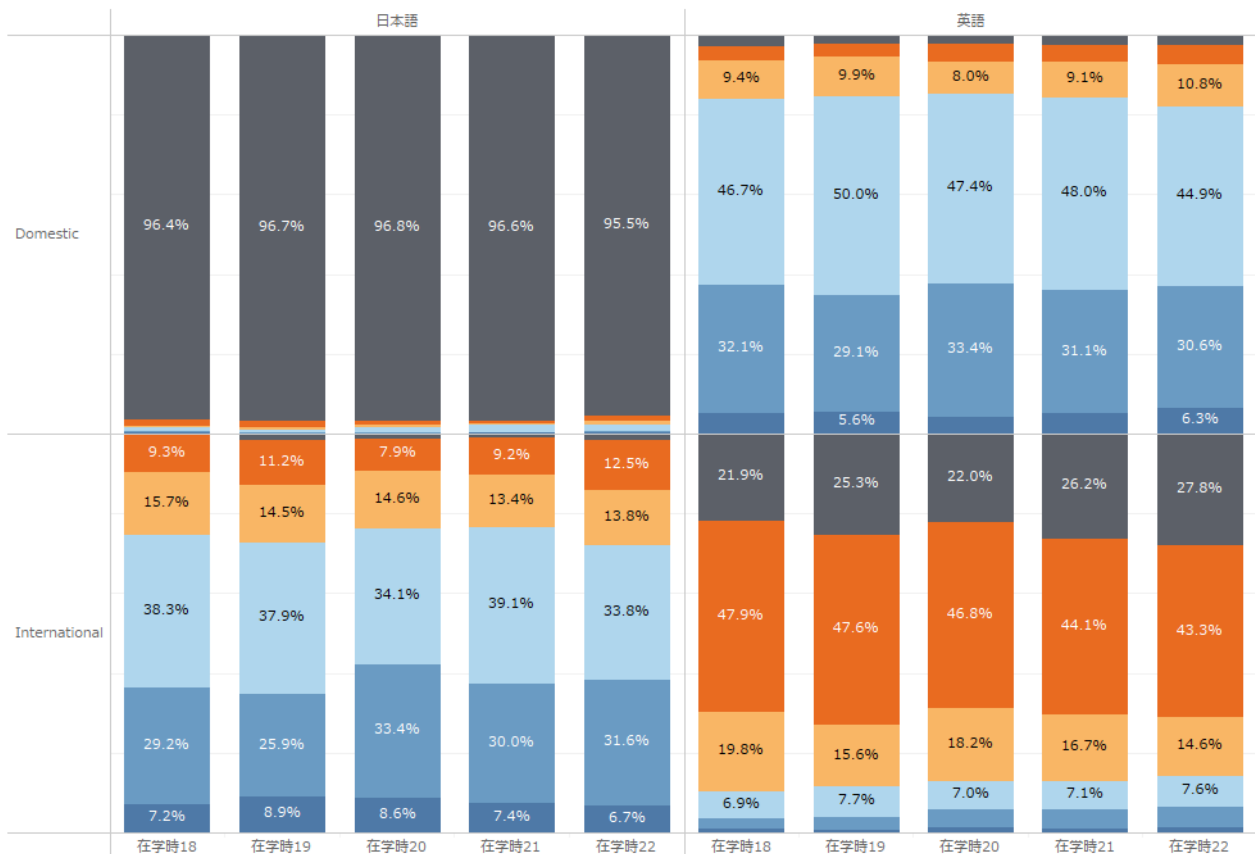
自身の基本言語（日本語または英語）と反対の言語（日本語または英語）に対する使用レベルについて質問した結果を以下に示す。国内学生の95%以上が「日本語が母語、または母語レベル」と答えているのに対し、国際学生で「英語が母語、または母語レベル」と答えた学生は約25%にとどまる。（7割以上の国際学生にとって英語も母語ではない）

国際学生の85%以上が（「英語が母語、または母語レベル」の学生を含む）「英語で専門分野や様々なテーマにおいて議論することができるレベル」と回答しているのに対し、国内学生は15%～18%に留まる。国内学生の大半が英語に対し「日常的な事柄なら議論に参加できるレベル」または「日常生活で短く簡単な表現が理解でき、話がレベル」と答えており、英語で専門分野や様々なテーマで議論するレベルには至っていないことが分かる。

Answer (グループ)

- 母語/または母語レベル
- 専門分野に関する事柄なら、議論に参加できるレベル
- 日常生活で短く簡単な表現が理解でき、話がレベル
- 様々なテーマで、高度な表現や長い文章が理解できるレベル
- 日常的な事柄なら、議論に参加できるレベル
- 単語レベルの理解や話ができるレベル

あなたの語学の使用レベルに関して、当てはまるものを選んでください。



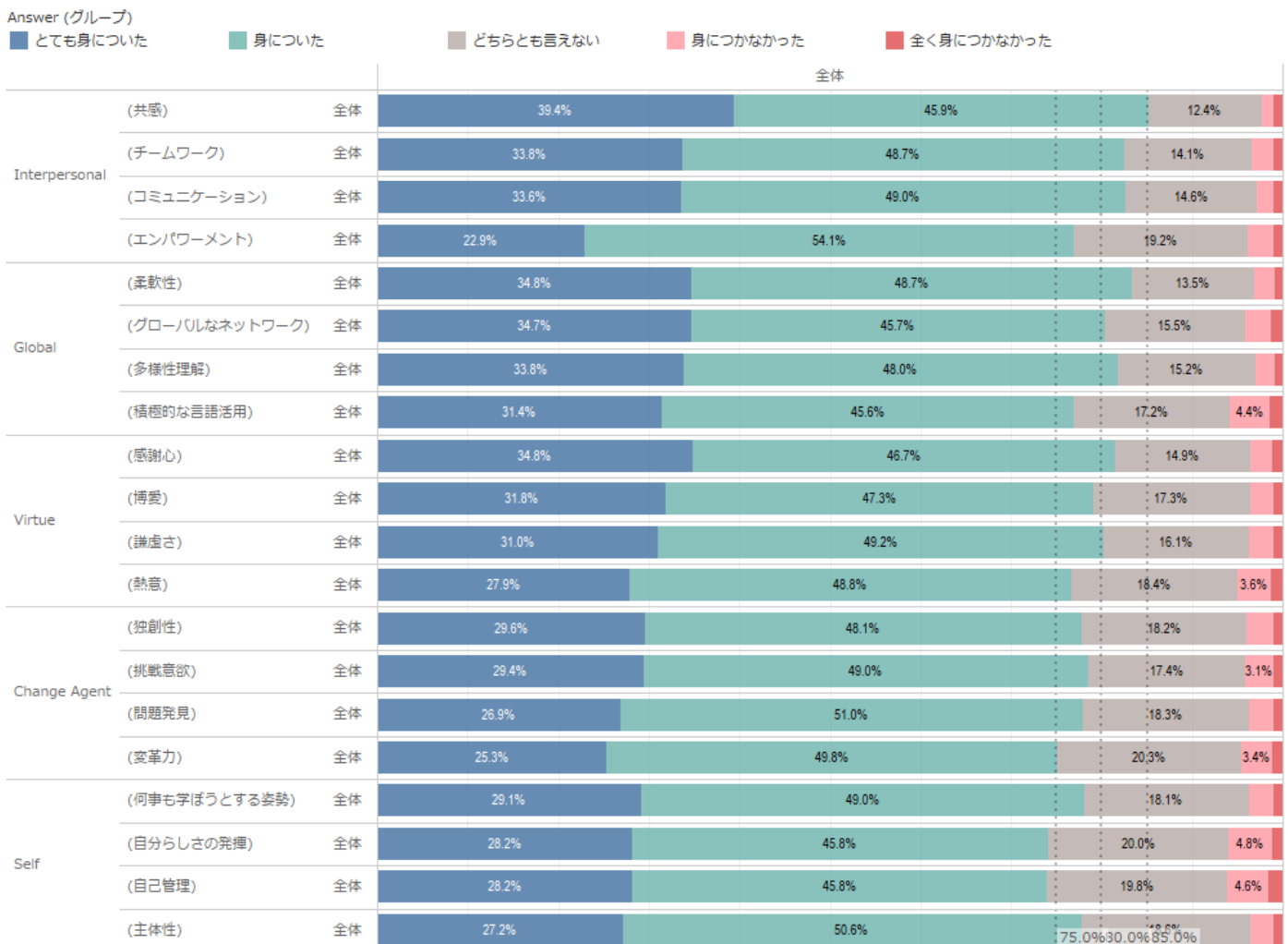
成長実感（入学以降 APU で習得した資質や能力）

2021 年度より APU Rubric のコンピテンシーに対して、「APU での学生生活を通じて現在までにどのくらい身に付けることができましたか」という質問を行った。2021 年度調査、2022 年度調査の結果を以下に示す。最も成長実感が高いコンピテンシーは「共感（関わっている相手の寛恕鵜起伏、文化的背景を理解し、受け止める）」であり、85.3%が「身についた」と回答している。

一方、成長実感が低いコンピテンシーは「自分らしさの発揮（自らの強みを伸ばし、弱みを克服しながらその個性や特徴を際立たせていく）」「自己管理（自らを客観的に捉え、厳しく律しながら、向上心を持って高めようとする）」であり 75%をやや下回っている。

コンピテンシーを 5 つのクラスターに分けた場合、クラスター毎に見ると、「Interpersonal」「Global」とは 4 つの項目すべてにおいて 75%以上が身についたと回答している（うち 3 つの項目は 80%を超えている）。

APUでの学生生活を通じて現在までに以下に示すような資質・能力をどのくらい身に付けることができましたか？
【2021年度以降の設問】

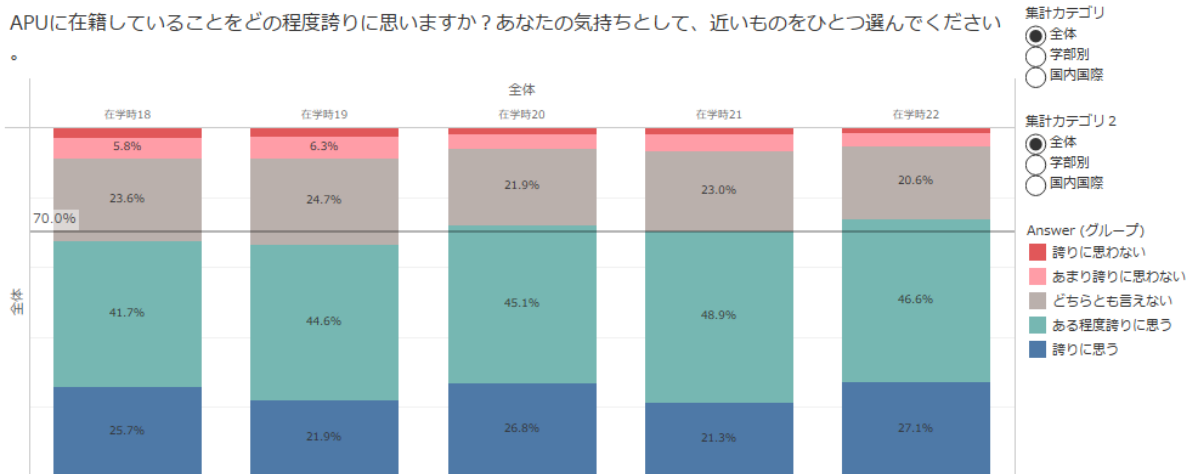


大学生生活の満足度・帰属意識

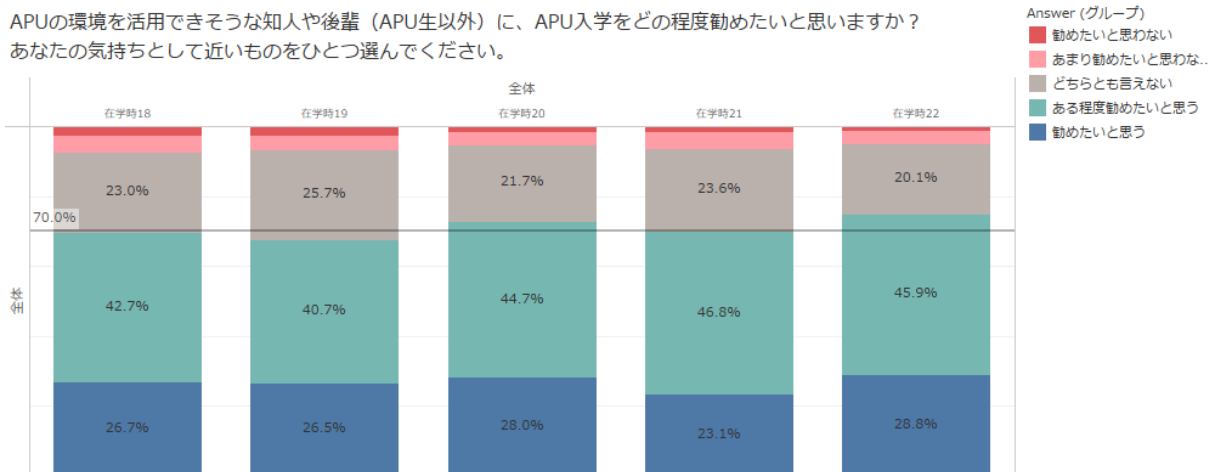
大学生生活の満足度と帰属意識について「APU に在籍していることを誇りに思うか」と「APU への入学を知人や後輩にどの程度勧めたいか」という質問で問うた結果を以下に示す。

満足度、推奨度共に、約 7 割の学生が肯定的な回答をしており、2020 年度以降若干の上昇傾向がみられる。

APU に在籍していることをどの程度誇りに思いますか？ あなたの気持ちとして、近いものをひとつ選んでください。

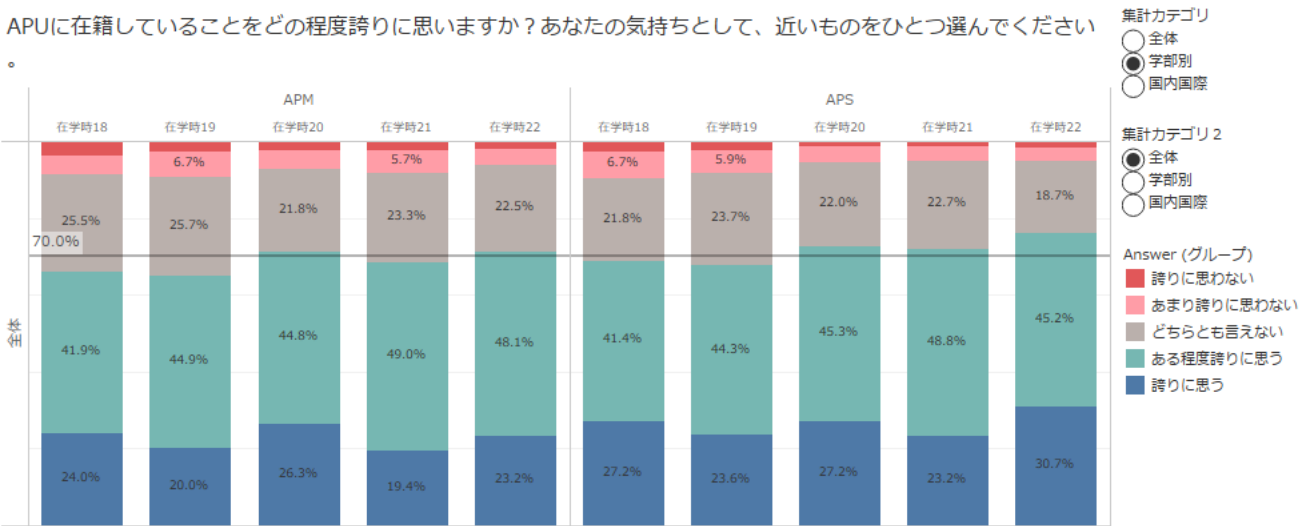


APU の環境を活用できそうな知人や後輩（APU 生以外）に、APU 入学をどの程度勧めたいと思いますか？ あなたの気持ちとして近いものをひとつ選んでください。

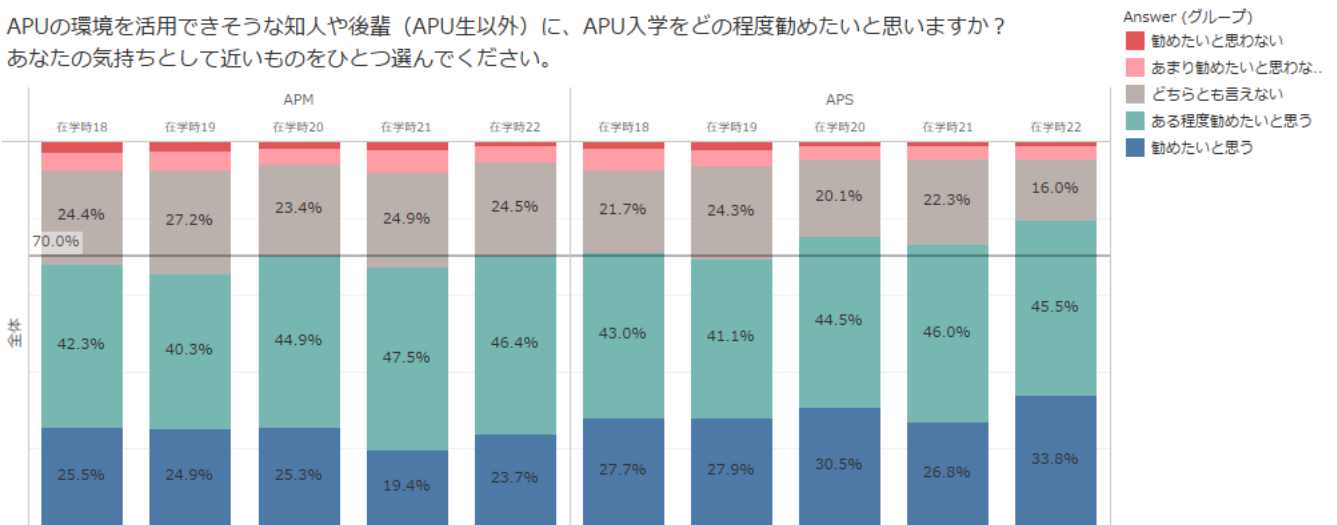


学部別に見ると、2019 年度に比べ 2022 年度は肯定意見が+8.0 ポイント（APS）、+6.4 ポイント（APM）上昇している

APUに在籍していることをどの程度誇りに思いますか？あなたの気持ちとして、近いものをひとつ選んでください



APUの環境を活用できそうな知人や後輩（APU生以外）に、APU入学をどの程度勧めたいと思いますか？あなたの気持ちとして近いものをひとつ選んでください。



キャリアプラン

卒業後の進学について質問した結果を以下に示す。国内学生の65%以上が大学（学部）までと回答しているのに対し、国際学生の約40%が修士まで、10%が博士まで取得をしたいと回答している。これは入学時調査の状況とほぼ変化していない。

あなたは将来どの程度の教育を受けたいと思いますか？



あなたは将来どの程度の教育を受けたいと思いますか？

